



木更津市議会議員 田中のりこ

通信 みんなのひろば

No.14

発行：通信 No.14 2026 年 夏号
田中のりことみんなの会
TEL：070-2172-8480(連絡・活動用)
MAIL：tanaka-noriko@live.jp



ブログ



facebook



みんなの会HP

木更津市は 法に基づき 是正を行うよう警告していた 是正の工事計画書は出されていない そして、土砂崩れが起きた

「事後の行政指導より、 残土条例改正で未然防止を」



土砂崩れ 絵／市原市在住 元県議会議員の山本友子さん

令和3年7月、静岡県熱海市で大雨に伴って盛土が崩落し、大規模な土石流災害があり、災害関連死1名を含む28名が亡くなりました。

この災害後、2つの法律が施行されました。

①「盛土規制法」 令和5年5月26日施行

千葉県では、令和7年5月26日から規制が始まりました。木更津市全域が宅地造成等工事規制区域になりました。

②「土砂災害防止法」 令和7年6月1日に施行

千葉県が土砂災害警戒区域等を指定しました。木更津市には、令和8年7月3日現在、518箇所の区域が指定されています。

木更津市の土砂災害警戒区域等指定箇所
(令和8年7月3日現在)

自然現象の種類	告示日	指定箇所数	計
土石流	R2.2.18	1	43
	R3.3.19	42	
急傾斜地の崩壊	H22.5.14	4	475
	H24.3.30	4	
	R3.3.19	219	
	R6.1.30	28	
	R6.12.27	45	
	R7.6.10	40	
	R7.7.11	2	
	R7.9.5	3	
	R8.1.9	129	
	R8.6.26	1	

6月27日(土)夜に地鳴り

翌日に地域住民が現場を見ると、土砂が烏田川まで崩れ落ちて、田んぼへの水路も埋もれていました。崩れ落ちたのは山土ではなく、市が警告を出していた土砂です。(写真右)

有志で米作り体験中の田んぼの用水路も埋もれてしまい、井戸水を分けてもらっています。

斜面上の八幡台2丁目、土砂を搬入した出入口には、令和5年12月に行政処分した「周知及び警告文」、そして令和7年9月に、警告の標識(下記参照)を掲示しています。

警告

木更津市上烏田●●については、造成により斜面に亀裂が生じており、崩壊の危険性が高く、崩壊した場合、斜面下側の農地及び農業用 用排水路に被害が及ぶ可能性が極めて高いため、令和6年2月13日付けにて、法に基づき是正を行うよう通知したところですが、いまだ工事計画書の提出もなく、命令の履行もされておられません。

通知の中で、命令の履行に伴う工事計画書の提出を求めているにも関わらず、提出せずには正工事等を実施した場合、命令違反となり、罰則の対象となります。《施行した者(造成主)についても同様な扱い》

つきましては、早急に是正における工事計画書を提出し、承諾を受けたうえ、地域住民等にも説明後に工事を実施するよう通知いたします。
※この標識を毀棄(きき)した者は、器物損壊罪で罰せられます。

木更津市都市整備部都市政策課

警告(前述)も履行されず、残土条例の改正前に災害が起きてしまいました。

市は、対策を検討中

土砂の埋め立て 面積規制等
→市 環境部生活環境課

斜面の安全確保・盛土の高さ等の規制
→市 都市整備部都市政策課

農業用 用排水路
→市 経済部農林水産課

烏田川に土砂
→県 君津土木事務所



開発行為等の環境問題を考える部会

議員会では有志で部会を結成し、調査・研究を行うことができます。5人(石井徳亮議員・三上和俊議員・渡辺厚子議員・神蔵五月議員・田中紀子)で部会を結成し、「事後の行政指導より未然防止をと」残土条例改正に向け、活動3年目。部会では盛土規制法ができたことで、市から県に所管変更となり、7月23日に県庁へヒアリングに行き、30日に市の職員と情報共有しました。

残土条例改正の施行はR9年4月1日

令和8年3月…残土条例改正素案 意見公募終了
令和8年9月…残土条例の議案、議会上程めざす
令和9年4月1日…条例施行の予定をめざす

(罰則に関係ない規定は公布の日)

市民目線で暮らしと政治をつなぐ

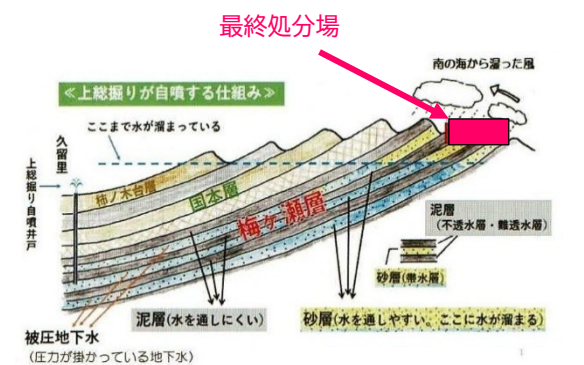


6/1 いのちの水の楽習会 なぜ水が豊富なのか 41人参加

ふるさとの水を守る会の協力で、鳥海文和さんを講師に楽習会を開きました。

君津市、富津市、木更津市、袖ヶ浦市と市原と千葉市の一部の市民約90万人の水道水源を供給する小櫃川や君津市久留里では、地下水が豊かで自噴井戸があります。なぜ、水が豊富なのか、それは、何百万年もかけて作られた千葉県の地層「砂泥互層」と地殻変動によるものだったと壮大な話から始まりました。

「砂泥互層」は「バームクーヘンのように水を通す砂の層と水を通しにくい泥層が幾重にもなっていて、それが地殻変動で君津市域の大地を形成する地層は、東京湾の中央に向かって北～北北西に傾斜しています。



「ふるさとの水を守る会」作成資料より抜粋

- ▶ ふるさとの水を守る会が水質検査。処分場直下の御腹川上流域で 高濃度塩化物イオンや PFAS 検出 320ng/L(2024 年12月) 460ng/L(2025年 2月) 国が定める暫定目標値「50ng/L」を大幅に上回る!!

現在、産業廃棄物処分場の第1期は、搬入を停止していますが、第3期は搬入し、第4期も建設申請中です。



参加者の感想

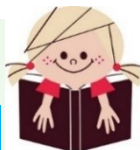
- 房総丘陵は、水が豊富なのは、なぜなのか、とてもわかりやすい説明でよかった。
- 今まで、産業廃棄物の処分場のことは、関心がなかった。私たちの水道水源にある産業廃棄物処分場(第1期)の漏れが14年間も改善されていないことにびっくりした。
- 健康被害がある前に止めたいと思った。
- 以前、署名活動をしたことがある。ぜひ、現状を私の地域でも楽習会を開きたい。

(その後 7/4 に文京地域交流センターで開催)

ふるさとの水を守る会

- ・8/7(金)、東京高裁で行政訴訟控訴審 第2回公判
 - ・9/4(金)、東京高裁で民事訴訟控訴審 第1回公判
- 毎回、バスを用意し、裁判の傍聴者を募り、いのちの水を守りたい住民の思いを人数で訴えています。

ふるさとの水を守る会ホームページ
↓アドレス →QRコード
<https://furusatonomizu.net/>



暮らしに香る本シリーズ ㊥ 玄冬の門

五木寛之

作者は「私は、歯科以外は病院にかかっていない」とよくあちこちに書いていますね。

仕事のつながりでの食事会なども嫌いで欠席しますし、普段から独りで居ることを選んで暮らしているそうです。

無から生まれて現世に生き、また無に戻る。返るときは、外部の力で無理やり追い返されるのではなく、自らこの世から身を引くというつもりで生きていくのだそうです。

〈もの忘れがひどくなることを嘆くことはない。成長していくなかで身につけた知識と記憶を少しずつ世間に返していく。こどもに還り、やがて誕生した場所へ還る。それを死というのです〉と。

1932年生れ。93歳の作者は、これからは孤独を嫌がらず、孤独の中に楽しみを見出し、この世を去っていく練習を大事にしたいそうです。

10年前の著書を何度か読み返しているうち、こんなにスッキリこの世とお別れできたらいいなと私も思いました。

(宮下)



教育現場の教師からのつぶやき⑭ 夏休み 教育のひろば

最近映画を見ました。私が思っていた事と現実の違いが大き過ぎて驚きと同時に学ぶ事、真実を知る事の大切さを痛感しました。

一昨年見た『どうすればよかったか』と言う映画でも、学ぶ事、考える事が沢山ありました。我が身に照らして共感する事もありました。世の中には、いかに知らない事が沢山あるのか。そして、それらが身近で起こっているにもかかわらず…知っていれば、良い解決策を見つけられたかもしれないのに、と思います。

生徒に教えてもらって見た映画『震える舌』も破傷風の怖さを伝えるには十分すぎるほどの映画です。これは教えてくれた生徒のお父様が、留学前の生徒に小さな怪我も軽んじない様にと見る事を勧められたようです。

映像で見ると、活字では伝わり難いことも印象に残るように思います。少々生々しさは増しますが。活字からも映像からも多くの情報を得て、学び、より豊かに暮らせる様にと願っています。

夏休みはその、絶好のチャンスです。(YAPPY)



6/23「知っ得!! 介護保険のしくみと利用方法」 21人参加

講師は、木更津市の職員が2人、南部包括支援センターからも2人来てくださいました。

21人が参加し、関心の高さがうかがえました。介護保険を家族、または本人が受けていない方が多く、「皆さんが支払っている介護保険料と国、県、市の公費で 50%ずつでまかっています」と基本から説明してもらいました。出前講座を依頼するときに、初めての人や、現在利用している方も参加することを伝えていたので、内容が盛りだくさんになってし

介護保険の財源 (利用者負担分は除く)		
介護保険料	65歳以上	23%
	40～64歳	27%
公費	国	25%
	千葉県	12.5%
	木更津市	12.5%

まいました。介護保険の出前講座、近いうちに、リベンジでまたやりたいです。

参加者の感想

- 仕事上、介護保険が身近な人にとっては、わかりやすかったが、初心者には、初めて聴く言葉も多かった。
 - 盛りだくさんで進め方も速かったので、初心者には、理解できたかが気になった。
- 「介護保険講座 基礎編」「介護保険講座 在宅編」「介護保険講座 施設編」などと、3回シリーズにするといいと思いました。そうすれば、講師も、高齢者に聞き取りやすいようゆっくりと説明ができると思いました。

●△◆お知らせ伝言板○▼◇ 070-2172-8480(予約・連絡・活動用)

きさらづ出前講座と工場見学

黄色いごみ袋で出した製品プラスチック その後はどこへ

通信の配布について
今年は、異常な暑さのため、ポスティングボランティアがいつもお届けしていたエリアも、ポスティング業者に依頼しました。

日程 10月29日(木)10:00～
会場 株佐久間 君津エコパーク
君津市坂田 39-37
(2025 年 10 月オープン)

- 製品プラスチックは、どのように資源化されているのか、工場見学を兼ねた出前講座。
- 集合 9:40 旧市役所駐車場 (警察署隣) (駐車場に限りがあるため車を乗り合わせ、工場へ)

- 要予約 20人を予定
- 10月1日より予約受付
- 9月末発行予定の議会速報で、再度、募集の案内をします。